

# Aquatic Functional Materials News



January 2024 ▶No.17

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型) (No. 6104) 令和元年-5年度

## 水圏機能材料:環境に調和・応答するマテリアル構築学の創成

### 国際アドバイザーボード評価委員会 開催

日時: 2024年1月8日(月)～11日(木)

場所: 東京、仙台

主催: 新学術領域研究「水圏機能材料:環境に調和・応答するマテリアル構築学の創成」総括班

新学術領域研究「水圏機能材料:環境に調和・応答するマテリアル構築学の創成」の国際アドバイザーボードである Yanli Zhao 先生(南洋理工大学)、Stefan Hecht 先生(フンボルト大学ベルリン)のお二人をお招きし(Joanna Aizenberg 先生(ハーバード大学)、Michael Aizenberg 先生(ハーバード大学)は欠席)、国際アドバイザーボード評価委員会が2024年1月8日(月)～11日(木)に開催されました。

加藤領域代表による領域全体の紹介に続き、計画班・総括班の研究者(総勢18名)が自己紹介およびこれまでの領域研究で取り組んできた内容についての発表を行いました。国際アドバイザーボードのお二方からは、それぞれの発表

について今後の領域研究推進のために有益なご意見を多くいただきました。また、Yanli Zhao 先生および Stefan Hecht 先生より招待講演をいただき、いずれも活発な議論がなされ、たいへん実りの大きな委員会となりました。

1月10日(水)には、仙台にて2024年度に稼働開始予定の次世代放射光施設 NanoTerasu の見学会を日帰りにて行いました。A02 原田悠久(東京大学)による施設の紹介の後にビームラインの見学を行い、たいへん貴重な機会となりました。

最終日には、Stefan Hecht 先生より「水と材料の科学を基軸として、日本中から広い分野の多様な研究者が集まる素晴らしいプロジェクトである。研究を通して育成された若手研究者や



NanoTerasu での見学会後の様子(左から二番目: Stefan Hecht 先生、左から三番目: Yanli Zhao 先生)

醸成された領域研究者のネットワークは価値の高い財産である。これをさらに活性化して領域終了後も続け、持続可能性、次世代のセンシング材料・医療をはじめとする世界的な課題に取り組んでほしい」、Yanli Zhao 先生より「水と材料のかかわりの重要性を鑑みると、本領域はまさに今の時代に必要なプロジェクトである。加藤領域代表の強力なリーダーシップのもと、広い研究者が集う機会が精緻にオーガナイズされ、たいへん成功しているという印象を受けた。本領

域を通して異なる専門性を持つ領域研究者が得た新しい知識や成果を統合して次の世代に受け継ぎ、今後活かしてほしい」とコメントをいただきました。

本評価委員会を通して、「水圏機能材料」のコンセプトを深くご理解いただき、高く評価していただくことができました。国際アドバイザーボードの先生方、今回の委員会開催へ協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

(阪大院理・中畑雅樹)



終了後の様子（前列中央：加藤先生、左：Stefan Hecht 先生、右：Yanli Zhao 先生）



Aquatic Functional Materials

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究（研究領域提案型）(No. 6104) 令和元年-5年度  
「水圏機能材料：環境に調和・応答するマテリアル構築学の創成」  
ニュースレター第17号(2024年1月発行)

■編集・発行 「水圏機能材料」総括班

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

<https://www.aquatic-functional-materials.org>

東京大学大学院工学系研究科 加藤研究室内